

建設産業界各社入社式

1日、ことしも数多くの若者が建設産業界に入ってきた。この日、ほとんどの企業で開かれた入社式では、新入社員はスーツ姿が一般的。それを打ち破って六興電気（本社・東京都港区、長江洋一社長）は、会社側出席者も新入社員もカジュアルスタイルで出席という入社式にした。

新入社員への訓示で長江社長は「固定化された観点にとらわれず、いろいろなことを発想し、それを試してほしい」と要請。これを受け、新入社員を代表して島田茜さんが「六興電気の宝となることを誓う」と決意を表明した。

11 2―5面に各社トップの入社式訓示

いろいろな発想を試して



11

型にはまらない柔軟な発想を求めた六興電気の入社式―写真①今回から中途採用者も含めて入社式を行った清水建設の宮本洋一社長は「頭で、心で、体で汗をかきながら頑張してほしい」とエールを送った―写真②新入社員約230人が出席した大成建設の入社式では山内隆司社長が「建設業の使命と責任の重さを認識し、会社と社会に貢献できるように努力してほしい」と呼び掛けた―写真③



12



13

